

令和2年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

- 1 「**智・徳・体を修め社会に奉仕する**」の建学の精神を再確認し、生徒一人ひとりに洗練された感性と豊かな心を身につけさせる。
- 2 生徒一人ひとりの夢が実現できるよう、個々の能力を伸張させ、希望進路の実現を推進する。
- 3 生徒保護者や地域から愛され信頼される南大阪の代表的な学校とする。
- 4 浪商高校創立100周年までに、浪商ブランドを確立する。「**泉州を代表する進学校、大阪を代表するスポーツエリート校**」

2 中期的目標

1 生徒個々に応じた学力の向上

- (1) 授業力の向上：コースの特色に応じた授業が展開できるよう工夫していく。
 - ア 「少人数授業」を活かし、「わかる授業」を推進していく。また、授業アンケート等を活用し、「授業力の向上」を図る。
 - イ ICTを活用した授業を積極的に進めていく。令和元年度入学生よりiPadを導入。研究・研修を行い、ICT化を進めていく。
 - ウ 成績不振者に対する指導を充実させ、基礎学力の定着を図り、家庭学習の習慣を確立させる。***** 生徒向け学校教育自己診断における「授業はわかりやすいですか。」(平成30年度65%)を令和3年には80%以上にする。**
- (2) 授業にとどまらず様々な場面での学習環境を整備する。
 - ア 漢字検定・英語検定・数学検定の受検対策を行い、目標達成に向けて意欲的に取り組ませる。
 - イ 図書室や学級文庫の利用率を上げ、幅広い知識の習得をめざす。***** 検定の合格率を向上させ、漢字検定・英語検定については卒業までに全員が3級以上取得をめざす。**
- (3) 生徒の自主的な学習態度を養う。
 - ア 「浪商塾(放課後学習サポート)」をより充実したものにし、自主的な学習につなげていく。
 - イ 「アクティブラーニング」や「協働学習」を推進し、「自ら考え、自ら行動する」生徒を育てる。***** 生徒向け学校教育自己診断における「毎日、家庭学習をしていますか。」(平成30年度35%)を令和3年には60%以上にする。**

2 生きる力の育成

- (1) 規律ある学校生活を送り、生徒会活動などを通じて自主自立の精神を育てる。
 - ア 「浪中ルール」を徹底し、生徒の規範意識を高めていくとともに、教員の組織的・統一的な指導を行う。
 - イ 挨拶・服装等の指導強化に取り組む。***** 生徒向け学校教育自己診断における「本校では、社会のルールや命の大切さを学ぶ機会がありますか。」(平成30年度84%)を令和3年には90%以上にする。**
- (2) 様々な体験活動やボランティア活動を通じて豊かな感性を養う。
 - ア 特別活動や生徒会活動を通じて生徒の自己有用感を醸成し、浪商高校でリーダーとなる生徒を育てていく。
 - イ 「国際交流」を通して、文化や習慣の違いを尊重する心を育むとともに、コミュニケーション能力の育成を図る。***** 生徒向け学校教育自己診断における「学校行事(文化祭・体育祭など)に楽しく、積極的に参加していますか。」(平成30年度85%)を令和3年には95%以上にする。**
***** 外国からの訪問を積極的に受け入れ、学期に1回は外国の学生との交流を行う。**
- (3) 新学習指導要領への対応
 - ア 令和2年度からの全面実施に向けて、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を行っていく。
 - イ 未来を生きていく力を育むため、カリキュラムマネジメントを確立し、効果的な教育活動を行う。***** 生徒向け学校教育自己診断における「授業には積極的に参加していますか。」(平成30年度82%)を令和3年には90%以上にする。**

3 中高一貫教育の推進

- (1) 平成29年度入学生より中高一貫教育を実施。平成30年度より中学校改革を行い、令和2年で3年目となる。6年後の進路を見すえ、計画的継続的教育活動を進め、学習面は言うまでもなく部活動でも生徒の個性を伸ばしすぐれた才能の発見に努め、文武両道教育の一層の充実をめざす。
 - ア 生徒・保護者向けの説明会をタイミングよく行い、納得のいくコース決定を行っていく。
 - イ スクラップアンドビルドの実践。魅力ある浪商中学校実現ために体制を再構築していく。***** 生徒向け学校教育自己診断における「学校に来るのが楽しいですか。」(平成30年度87%)を令和3年には90%以上にする。**

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析〔令和2年11月実施分〕	学校運営協議会からの意見
<p>(生徒用)</p> <p>○「毎日、家庭学習をしていますか。(塾以外)」(59%)は、家庭学習課題が出ているにも関わらず、毎年低い。しかし、今年度は数値としてはまだまだ低いですが、平成30年(35%)と令和元年(43%)が50%を下回っていたため、数値としては評価できる。iPadと学習コンテンツの取り組みが数字として出てきたのかもしれない。</p> <p>○「学校生活についての先生の指導に納得できていますか。」(77%)が前年度より13%も上がった。浪中ルールの徹底や生徒会による校則の見直しが見直しが前向きな意見につながった。</p> <p>○「学校行事(文化祭・体育祭など)に楽しく、積極的に参加していますか。」(93%)が前年度よりマイナス9%となった。コロナの影響で大きな行事が中止になったことが影響している。可能な範囲で代替の行事を取り入れ、少しでも生徒に充実した学校生活を送らせてあげたい。</p> <p>○「先生は、生徒の頑張りをよく評価してくれますか。」(92%)が前年度よりプラス10%となった。3学年とも90%を超えている。「めあて・ふりかえりシート」を活用することで、生徒の学習状況が確認でき、それぞれに合った声掛けを行ってきた成果である。</p> <p>○「図書室を利用していますか。」(33%)については、前年度よりマイナス15%となった。コロナの影響で、図書室を利用する機会が減ったことが原因に挙げられる。</p> <p>○「本校のホームページは中学生にとって魅力ある情報発信を行っていますか。」(51%)が前年度よりプラス25%になった。限られた中での教育活動や部活動の様子をブログに掲載し、少しでも明るい話題を発信してきた結果である。</p> <p>(保護者用)</p> <p>○全体的に大きなマイナスはなく、ほとんどがプラスであったが、「お子さんは入学して、また進級して学習活動に取り組む時間が増えた。」(38%)が前年度と同じ低い数字であった。生徒のアンケートでは数字が上がっているが、なかなか評価として表れない項目である。</p> <p>○「お子さんは先生の学習指導はいいねいどと言っている。」(69%)が前年度よりプラス11%となった。iPadやプロジェクター等のICT機器を使った授業も徐々に増えてきて、生徒の実態に合った授業内容になってきている。</p> <p>○「学校は教育方針をわかりやすく伝えている。」(79%)が前年度よりプラス10%となった。さくら連絡網の導入で学校からの連絡が保護者様に高い割合で届くようになってきた。</p> <p>○「先生は保護者からの相談に適切に対応している。」(94%)が全ての学年で90%以上となり、3年生は100%となった。前年度よりプラス10%である。問題が発生した際の初期対応を迅速に行ってきた成果である。また、複数の教員で対応することで、安心感も持っていたいただいていると思う。</p> <p>○「私は子どもをこの学校に入学させたことに満足している。」(88%)が前年度よりプラス13%であったが、1年生が77%と低い数字となった。新型コロナウイルスの影響もあったとは思いますが、それに負けない魅力ある教育活動を検討しなければならない。</p>	<p>◆学校評価及び学校診断アンケートの結果報告</p> <p>「令和2年度 学校経営計画及び学校評価」、生徒・保護者の「令和2年度 本校教育活動に関する調査」の資料やグラフに基づき詳細な説明を行った。</p> <p>◆第三者評価について(学校関係者評価を中心に)</p> <p>めざす学校像は「中長期目標」に掲げる「1 生徒個々に応じた学力の向上」、「2 生きる力の育成」、「3 中高一貫教育の推進」を進め、「自ら考え、自ら行動する」生徒を育てることであり、それに沿った具体的な重点目標の設定と取り組みが行われていると評価できる。</p> <p>◆質問事項や意見等</p> <p>○入試の日程に関して、受験生を増やす工夫は何かしているのか。大学入試においては、早く合格を決めたい受験生が多く、いかにアピールして前段階で囲い込みができるかが必要となってくる。→初日の日程変更はできないが、中学では受験日を増やしたり、高校では和歌山入試を実施したりしている。</p> <p>○スポーツは魅力の1つであり、浪商の強みであるが、今後は中学も高校も入口をせばめるのではなくむしろ広げて、汎用性のある教育活動を行っていく必要があるのかもしれない。→ICTや国際理解教育等を充実させていく。</p> <p>○グローバル教育の取り組みとして行っている第2外国語や国際交流はとて面白い。英語で弁論大会や実技科目の実施などを行ってみてはどうか。また、外国人との試合や遠征などができるとさらにいい。</p> <p>○施設の充実も必要。例えばグラウンドの人工芝化、トイレ、食堂など。魅力アップができれば。</p> <p>○外国からの大学院生も増えてきているので、交流をできる機会を作ってみるのはいかがでしょうか。そうすることで自分も海外で学びたいという気持ちにもなるかもしれない。大学の国際交流センターとも連携してみては。→オンライン国際交流も行っているが、身近なところで交流ができるのはとてもありがたい。</p> <p>○中高大連携として、高大のスポーツ分野での連携が進んでいるが、スポーツマネジメント・ビジネスとといった分野の連携も強化し、他では学ぶことのできないことが高校で学ぶことができるといったアピールの仕方はどうか。→単に競技の実績をアピールするのではなく、スポーツを学ぶことができる学校としてアピールできるように再定義していきたい。</p> <p>○今取り組んでいることをさらに深め、戦略的に募集活動を行っていかねばならない。</p> <p>○大学の関係者が説明会等に参加するのもいいアピールである。→ぜひお願いしたい。</p> <p>【第三者評価】</p> <p>開催日： 令和3年8月4日(水)、10月12日(日)、10月27日(水)、10月29日(金)</p> <p>出席者： 大阪体育大学 体育学部 スポーツ教育学科長 曾根純也 大阪体育大学 体育学部 健康スポーツマネジメント学科長 富山浩三 大阪体育大学浪商中学校・高等学校 元保護者会会長 小林弘輝 大阪体育大学浪商中学校・高等学校 校長 工藤哲士 大阪体育大学浪商中学校・高等学校 副校長 恩塚千代 大阪体育大学浪商中学校・高等学校 教頭 松田博志 大阪体育大学浪商中学校・高等学校 教頭 濱田倫史 大阪体育大学浪商中学校・高等学校 事務長 岸本雅彦 大阪体育大学浪商中学校・高等学校 入試対策室長 外畑拓哉 大阪体育大学浪商中学校・高等学校 主幹教諭 福光聖美</p>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価																
1 生徒個々に応じた学力の向上	(1) 授業力の向上	(1)	(1)	(1)																
	ア 「少人数授業」を活かした、「わかる授業」の推進	ア・「授業のめあてと振り返りシート」の徹底 ・「授業アンケート」を実施し、授業力の向上を図る。	ア・生徒向け学校教育自己診断における「授業はわかりやすいですか。」 (令和元年度 78%) ⇒80%に	ア・82%/+4% (○) 新学習指導要領に対応した内容をより充実させて、この数値を維持していきたい。																
	イ ICTの活用	イ・可能なところから教室の整備を行い、ICT が活用しやすい環境を作っていく。 ・1・2年生は導入した iPad を積極的に活用する。また、定期的な研修を行う。	イ・生徒向け学校教育自己診断における「先生は教え方に様々な工夫をしていますか。」 (令和元年 80%) ⇒90%に	イ・86%/+6% (△) 年々数字は上がっているが、ICT 機器の活用についてはまだまだ課題が残る。																
	ウ 家庭学習習慣の確立	ウ・定期考査後の学習管理の徹底を図り、成績不振者にはきめ細かいサポートを行っていく。 ・1年生は iPad や学習コンテンツを家庭学習に活かしていく。	ウ・生徒向け学校教育自己診断における「毎日、家庭学習をしていますか。(塾以外)」 (令和元年度 43%) ⇒60%に	ウ・59%/+16% (△) 目標値には届かなかったが、大幅に上がった。iPad や学習コンテンツの利用頻度の上昇が数値に表れてきた。																
	(2) 様々な場面での学習環境の整備	(2)	(2)	(2)																
	ア 各種検定試験に向けて積極的な取組み	ア・検定試験合格率アップのため、授業やステップアップ講座(放課後)で対策を行う。	ア・各学年(各クラス)で目標を設定し試験対策に取り組む。 ・中学卒業までに全員英語検定3級以上合格させる。 ・今年度設置のグローバル進学コースでは卒業までに英語検定準2級合格をめざす。 ・日々の学習が検定試験の結果につながるように、授業内容や課題を工夫する。	ア・全員合格の目標はまだまだ遠いが、少しずつ合格者は増えてきている。(×)																
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>漢検</th> <th>準2級</th> <th>3級</th> <th>4級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年生</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	漢検	準2級	3級	4級	1年生	0	0	0	2年生	0	1	3	3年生	0	3	5
	漢検	準2級	3級	4級																
	1年生	0	0	0																
	2年生	0	1	3																
3年生	0	3	5																	
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>英検</th> <th>準2級</th> <th>3級</th> <th>4級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年生</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	英検	準2級	3級	4級	1年生	0	0	1	2年生	0	2	3	3年生	0	3	2	
英検	準2級	3級	4級																	
1年生	0	0	1																	
2年生	0	2	3																	
3年生	0	3	2																	
イ 読書活動の推進	イ・図書室の貸出冊数と授業利用時間をアップさせる。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>932冊</td> <td>535冊</td> </tr> <tr> <td>授業利用</td> <td>46時間</td> <td>36時間</td> </tr> </tbody> </table>		平成30年度	令和元年度	貸出冊数	932冊	535冊	授業利用	46時間	36時間	イ・図書室の貸出冊数と授業利用時間 令和2年度の目標数値 貸出冊数 ⇒600冊に 授業利用時間 ⇒50時間に	イ・令和2年度の数値 貸出冊数 464冊/-71冊(×) 授業利用時間 34時間/-2時間(×) ここ2年で貸出冊数が大きく減少している。コロナによるものか、他に原因があるのか。								
	平成30年度	令和元年度																		
貸出冊数	932冊	535冊																		
授業利用	46時間	36時間																		
(3) 生徒の自主的な学習態度を養う	(3)	(3)	(3)																	
ア 「浪商塾(放課後学習サポート)」の充実	ア・呼び出し基準・実施方法・保護者への連絡等を見直し、個々に応じた対応をしていく。	ア・「できた」という達成感が得られるような取り組みをさせる。	ア・前年度までよりは改善された(○) 習熟度別授業を活かして授業内での理解度を上げていきたい。																	
イ 「アクティブラーニング」や「協働学習」の推進	イ・「アクティブラーニング」や「協働学習」を効果的に行い、「自ら考え、自ら行動する」生徒を育てていく。	イ・「総合的な学習の時間」だけではなく各教科でもみんなで「考える」時間を増やしていく。	イ・新型コロナウイルスにより実施する回数が減ったが、プレゼン作成や「考える」時間は増えている。(△)																	

2 生きる力の育成	<p>(1) 自主自立の精神の育成</p> <p>ア 生徒の規範意識の向上と、教員の組織的・統一的な指導</p> <p>イ 挨拶・服装等の指導強化</p>	<p>(1)</p> <p>ア・「浪中ルール」を徹底し、生徒・保護者・教員が共有することで安心安全な学校を作っていく。 ・情報交換を密に行い、問題事象を早期発見・対応していく。</p> <p>イ・昨年度、靴下について、校則の見直しを行なった。徹底できているか検証する。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・生徒向け学校教育自己診断における「本校では、社会のルールや命の大切さを学ぶ機会がありますか。」 (令和元年度 89%) ⇒90%に</p> <p>イ・靴下だけではなく、身だしなみ全般がきちんとできるように、教室や集会等で注意していく。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・92%/+3% (◎) クラスだけではなく、全校集会等でもことあるごとに「浪中ルール」に触れることで、意識が高まってきた。</p> <p>イ・靴下の違反 (○) 全校集会を行う機会が減ったが、違反者はほとんどいなくなった。</p>
	<p>(2) 豊かな感性の育成</p> <p>ア 生徒の自己有用感を醸成し、浪商高校でリーダーとなる生徒を育成</p> <p>イ 「国際交流」を行い文化や習慣の違いを尊重する心を育む</p>	<p>(2)</p> <p>ア・生徒会活動を充実させる。委員会活動を計画的に行い、生徒の主体性を養う。</p> <p>イ・関西空港に近いという立地を活かして、可能な限り海外からの訪問を受け入れ国際交流を推進していく。</p>	<p>(2)</p> <p>ア・月に1回、生徒会委員会を開く。</p> <p>イ・昨年度は3回の受け入れを行ったので、今年度も要望があれば積極的に受け入れる。 →台湾・中国・韓国</p>	<p>(2)</p> <p>ア・定期的に開くことができた (◎) 少しずつ自主的な活動も増えてきている。</p> <p>イ・コロナの影響で受け入れはできなかったが、オンラインでの交流を行うことができた。(△)</p>
3 中高一貫教育の推進	<p>(3) 新学習指導要領への対応</p> <p>ア 令和3(2021)年度の全面実施に向けて</p> <p>イ カリキュラムマネジメントの確立</p>	<p>(3)</p> <p>ア・教員一人一人の力量を高めるために研修の機会を設け、必要な環境を整備していく。</p> <p>イ・教科横断型授業の実践とPDCAサイクルの確立のため教育課程の編成を行う。</p>	<p>(3)</p> <p>ア・各教科に「探究」の時間を設け、意識して「主体的・対話的で深い学び」を行うようにする。</p> <p>イ・教員が理解を深めるため、研修等を行う。</p>	<p>(3)</p> <p>ア・各教科で授業内容を工夫してくれた。もっと ICT 機器を活用した活動も行ってもらいたい。(○)</p> <p>イ・学校内での実施ができなかったため、次年度は計画的に行う。(×)</p>
	<p>(1) 中高一貫教育の充実と発展</p> <p>ア 生徒・保護者向け内部進学説明会の充実</p> <p>イ 魅力ある浪商中学校の実現するために体制を再構築</p>	<p>(1)</p> <p>ア・懇談会や内部進学説明会の実施のタイミングを見直す。 ・浪商高等学校5つのコースの特長を理解してもらい、生徒に合ったコース選択をしていく。</p> <p>イ・教科指導・生活指導・部活動指導等、現状に合った指導を行うため、スクラップアンドビルドを実践していく。 ・中高大の連携をより強いものにし、また教育資源を活用し、新コースの特色をしっかりと出していく。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・内部進学者 100%をめざす。 (令和元年度 77%)</p> <p>イ・「グローバル進学コース」と「スポーツ進学コース」の取り組みを充実させる。 ・入試方式の検証を行い、現状に合ったものにしていく。 ・生徒募集のイベントも魅力的な内容にし、リピーターを増やせるようにする。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・内部進学者 83%/+6% (×) 内部進学説明会や懇談で、浪商高等学校の魅力を伝えているが、毎年進路変更を希望する生徒が出てくる。柔軟な対応が必要であるが、内部進学 100%をめざしたい。</p> <p>イ・新型コロナウイルス影響で行事が実施できなかった。 ・一般入試とN方式入試も2年目となり、N方式入試の認知度は上がったように感じる。 ・イベントが行えず、思うように募集活動ができなかった。次年度は取り組みを発信し、たくさんの方に参加してもらえるようにしていきたい。</p>